

風

かぜ

カゼ

2008..7-17No.119

◇慚愧(サンギ)と歓喜(カンギ)◇

この度ご門主さまが「浄土真宗の教書」の中で、門信徒の信仰生活は慚愧と歓喜の中で送られるのが望ましいと明示していただきました。

ご存知の通り慚愧とは「恥じる」 歓喜は「喜び」の意ですが、一般的に用いる「恥じる」「喜ぶ」と異なり、信仰生活内での捉え方といえます。生かされて生きている私であったことに気づかせていただいてよろこび、同時に仏の教えに照らされて自分の愚かさに気付き恥じることと味わいさせてもらいます。 妙好人浅原才市さんは「あさましい」と「ありがたい」をいつも口にしておられたそうです。慚愧歓喜の生活とは結局は一つになることでしょうか



◇アフリカの子に水を笑顔を

みなさまからの温かいお力添えで
¥61270円を届けることができました。
手押しポンプの周りの子供の笑顔が
浮かびます。有難うございました。



◇今月の安楽寺伝道掲示板

闇から光の 出るのでない
光は来って 闇が去る

安田 理深



〒105-0014

東京都 港区芝1-12-18 安楽寺 03-3451-1509